

DX山形ー経済再生、コロナの先へ

官民一体で新分野挑戦

芳賀道也氏



一過性の取り組みで終わってはいけない。生涯学ぼうとする意欲を、どう引き出すかが大事だ。

加藤 鮎子氏



リスクリングに取り組んだ個人、リーダー、企業など、長期的なスパンできちんと評価をしていくことが大切だ。

後藤 宗明氏



本県でのリスクリングの分野として、仮想現実(VR)を挙げたい。メタバースの世界で本県を売り込む仕組みを。



加藤 リスクリングについては、概念の理解が人それぞれだ。現時点では、浸透させることが重要だろう。経営者が一足を踏んでしまう点が課題に挙げられる。コストや時間をかけて人を育てても定着しなかったり、待遇の良い職場に転職したりすることが理由になっている。推進する上では、コストをかけて人を育てる企業がしっかりとインセンティブを得られるような仕組みづくりのほか、労働市場の改革と、その中の法制度の改革を国が検討しなければならぬと感じている。そして、リスクリングに取り組んだ個人、推進した部門のリーダー、実践した企業などについて、長期的なスパンできちんと評価をしていくことが大切だ。

片桐 DXは成長分野だ。これまでの意見を集約していただきたい。

後藤 リスクリングは個人の自主的な取り組みに限らず、産業政策や企業の生き残りに向けた事業戦略にもつながっている。本県での具体的なリスクリングの分野として、仮想現実(VR)を挙げたい。メタバースの世界で本県を売り込む仕組みをつくらなければならない。

後藤 リスクリングの成功には▽産学連携による推進組織の設立▽行政、企業、業界団体による三者契約▽有償の見習い制度の実施▽リスクリング後の昇給、昇格▽政治家や経営者による実践の五つのポイントがある。これらを踏まえて提案したいことは二つだ。一つは「山形県データ化」。まずは、メタバース化から始めてほしい。もう一つは本県のリスクリングを応援する、官民一体となった委員会の創設だ。本県が全国のロールモデルになることを期待している。

紙面編集・井上敏行、吉見勇希



閉会のあいさつ
山形放送社長 板垣 正義
DXは構想段階から実践段階へと移り、具体的なアクションで成功体験を積み上げていくことが重要との提言を受けた。一方で、中小企業に関しては、入り口の支援が必要との認識を共有した。リスクリングは企業や産業の成長に欠かせない。行政の支援が不可欠との指摘もあった。改めて、DXやリスクリングの重要性を確認することができた。皆さんには引き続きの尽力をお願いしたい。

県選出国會議員や各界代表がDX推進とリスクリングの重要性について提言した
＝東京・日本プレスセンタービル